小規模多機能型居宅介護とまり木

サービス評価

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　4年11月15日
1．初期支援（はじめのかかわり）	ﾒﾝﾊﾞｰ	17名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	0人	11人	5人	2人	17人

前回の改善計画
・新規利用者に関しては、担当者会議やカンファレンスに職員が出席できるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果
・新規利用者に対しては、勤務状況にもよるがケアマネと一緒に担当者会議、ないしカンファレンスに参加できる職員は参加してもらった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	3	10	4	0	17
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	2	11	4	0	17
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	1	14	2	0	17
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	1	11	5	0	17

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・資料や、ミーティングを通して利用者の情報を共有するとともに、オンラインでのミーティング議事録と録画で記録しておくことで、全職員に伝える体制ができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・職員の人数が揃っている時には、ミニカンファレンスを行う事があるが、カンファレンスに参加できなかった職員に対する情報共有ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・新規利用時の、職員の担当者会議への参加は定着してきていると思われるので、個別の利用者に対するカンファレンスを行う時間を設ける。 利用者におやつを提供している時間帯（14：30～15：30の間）	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　4 年　11 月　15 日
２.「～したい」の実現（自己実現の尊重）	ﾒﾝﾊﾞｰ	17 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	0 人	5 人	10 人	2 人	17 人

前回の改善計画
・主任が中心となり、担当の利用者様の「～したい」が実現するように、日々の生活に取り込めるような個別援助計画書を作成する。

前回の改善計画に対する取組み結果
・全員個別援助計画書をプランに落とし込むまでは出来ていないが、具体的な個別援助計画ができつつある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	2	2	13	0	17
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	2	4	11	0	17
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0	1	16	0	17
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	0	4	11	2	17

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・グループ担当の利用者の目標は把握している。（グループ内で気になる事を話題にし、問題点を、家族を巻き込み解決するために取り組んでいる）
・利用者の「～したい」や本人の希望、家族の希望をカンファレンスや普段の会話を交えて行っている。
・ADOC を活用し計画は立案されている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・グループ内での話し合いは出来るようになってきたが、グループ外の担当する利用者に対する情報共有は不十分になっている。

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

・前年度同様、利用者の「～したい」を実現するための個別援助計画を作成し、プランに位置付けをしていく。
・情報共有に関しては、ビジネスチャット等を使用して情報共有する仕組みを作る。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　4 年　11 月 15　日
３．日常生活の支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	17 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	0 人	10 人	6 人	1 人	17 人

前回の改善計画
・体調の変化等は、情報共有できるようになってきているので、継続していくのと、入浴介助で、職員によってやりたい事が違うところがあるケースもあるので統一できる仕組みをつくる。
前回の改善計画に対する取組み結果
・キャリア段位の介護技術に添って、マニュアル作成に取り組んでいるので、今後の新人教育指導に使っていく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？	0	2	12	3	17
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	3	12	2	0	17
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	6	9	1	17
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	2	13	2	0	17
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	0	9	8	0	17

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者の状態や、要望、問題点等気づいた時には、担当のスタッフ、ないしチームリーダーに伝える意識は定着し、グループ内での話し合いを行う事ができてきている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・マニュアル作成に取り組んでいるが、我流が多いのも現状。 ・朝のミーティングに参加できないスタッフに対する情報共有が出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・キャリア段位の介護技術に添った、新人指導を行う。 ・ミニカンファレンスを行う時間を設ける。おやつの時間帯（14：30～15：30 の間）	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　4 年　11 月　15 日
４．地域での暮らしの支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	17 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	0 人	0 人	9 人	8 人	17 人

前回の改善計画
・前年度同様、主任が主体となり、チームカンファレンスにケアマネが加わり、地域との関わりを考えていく。 ・地域資源の把握に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
・主任が主体となり、地域とのかかわりについての話し合いを行ったりはするが、コロナ禍と言うこともあり、うまく地域との関わりをもてていないのが現状。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	6	10	1	17
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	0	7	4	6	17
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	4	11	2	17
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	2	6	9	17

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・在宅の利用者が１日でも長く自宅で生活できるように、家族支援や家族の役割があれば、継続してもらえるようにサポートしている。 ・①～③に関して、時間が出来たときに利用者の今までの暮らしや、事業所が直接接していない時間帯に何をしているかの情報共有を行ったりしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・事業所の課題でもある地域資源の発掘が出来ていないので、計画書に地域資源が結び付けられていないのが現状。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・利用者をアセスメントする際に、「地域とのつながり」の視点を意識し、計画書に反映する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　4 年　11 月　15 日
５．多機能性ある柔軟な支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	17 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	0 人	3 人	6 人	8 人	17 人

前回の改善計画
・地域包括支援センターから地域の情報を入手して、小規模多機能型居宅介護とまり木として活用できそうな資源は利用していくよう計画書に位置付けをしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
・地域包括支援センターからの地域の情報であったり、利用者に対する相談等を行い、助言を求めたりすることは出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	2	2	6	7	17
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	4	9	2	2	17
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	1	10	3	3	17
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	1	8	5	3	17

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ニーズに応じて、通いから泊まりに変更するなどして、小多機としての機能を使用し、柔軟に利用者の生活を継続できるように支援している	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・活用できている社会資源は、配食サービスや金銭管理ぐらいで、地域資源の活用ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・自分たちの事業所だけで支えるのではなく、他の資源の活用を意識する。できる限り、地域資源をプランに位置付けする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　4年　11月　15日
６．連携・協働	ﾒﾝﾊﾞｰ	17名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	0人	5人	5人	7人	17人

前回の改善計画
・Zoomを利用しての、交流や施設見学等定着化してきたので、もっと幅広く利用できるような取り組みを行っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
・定例の交流に関する、ZOOMの利用は出来たものの、新たな活用とまではいっていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	4	4	9	17
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	1	0	15	17
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	1	1	14	17
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2	2	4	9	17

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・密を避けるために、ZOOMを使用しての会議を行うことができるようになったことで、連携する事業所と多職種でのサービス担当者会議が行えるようになってきた。 ・一部の地域住民はふらっと広場を活用している	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・コロナの影響もあると思われるが、地域活動への参加（地域に対しての活動）自治体との交流はほとんどできていない状況。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・地域にむけて事業所として取り組めることを考え、企画、実施していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　4 年　11 月　15 日
７．運営	ﾒﾝﾊﾞｰ	17 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	0 人	4 人	3 人	10 人	17 人

前回の改善計画
・昨年に引き続き、BCP 計画の作成に取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果
・事業所としての BCP 計画の作成には取り組めた。 ・実地訓練が出来ていない（コロナ感染拡大防止のため）

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	0	4	7	6	17
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	9	5	3	17
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	2	6	9	17
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	0	3	6	8	17

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者、家族からの依頼、苦情は上司に伝えると共に、意向に添えるよう努力していることによって、様々な苦情などには取り組めていると思う。 ・BCP 計画の作成はできた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域から必要とされる拠点であるための取り組みはできていないのと、ＢＣＰ計画は作成のみで実地訓練までは行えなかった。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・事業所としての BCP 計画の作成には取り組めたので、年２回の訓練を行えるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　4 年　11 月　 日
８．質を向上するための取組み	ﾒﾝﾊﾞｰ	17 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	0 人	2 人	10 人	5 人	17 人

前回の改善計画
・無資格の介護職員には、認知症介護基礎研修を受講してもらう。 ・新人職員の指導マニュアルを作成する。

前回の改善計画に対する取組み結果
・認知症介護基礎研修の受講（残り２名） ・新人職員マニュアルはあるものの、見直しを行う必要がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	2	6	4	5	17
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	4	5	6	17
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	4	13	17
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	2	7	5	3	17

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・上位資格の取得であったり、スキルアップのための研修を受ける職員が増えてきた。 ・職場内の研修参加	

できていない点
・職場内の研修には参加することができたが、外部研修の参加ができなかった。 ・リスクマネジメントの勉強会をもう少ししっかり行いたい。

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・キャリア段位の介護技術に添った、新人マニュアルの作成を完成させ、使用していく。 ・勉強会や、研修に参加した後に、何を学んできたかの報告を行えるよう全体ミーティングで時間を設ける。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　4 年　11 月　15 日
9．人権・プライバシー	ﾒﾝﾊﾞｰ	17 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	2 人	9 人	5 人	1 人	17 人

前回の改善計画
・身体拘束、プライバシー保護などの勉強会を継続することと、利用者に対しての言葉かけの見直しを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
・身体拘束、プライバシー保護の勉強会は行っている。 ・利用者に対しての言葉かけは、時々ふさわしくないと思われる時もあるため、職員全員で意識して取り組む必要がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	9	6	2	0	17
②	虐待は行われていない	10	7	0	0	17
③	プライバシーが守られている	5	7	5	0	17
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	4	4	7	17
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	12	1	1	17

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体拘束や虐待については、勉強会も頻回に行っているので、できていると思われる。 ・利用者にとって不利益になるような事は行っていない。 ・	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・日々の業務の中で自分に余裕が無い時に、利用者の話をスピーチブロックしてしまう時がある。 ・利用者に対しての言葉掛けに配慮が欠けていて、接遇に問題があると思う時がある。 ・パソコンに記録等の入力を行い、そのままパソコン画面を開けたままにしている時があり、個人情報の管理不足と思う。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・身体拘束、虐待の勉強会は継続して行っていくことと、個人情報の管理方法に関しては、マニュアルの見直しを行う。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表

法人名	医療法人社団友愛会	代表者	岩砂　智丈
事業所名	小規模多機能型居宅介護 とまり木	管理者	住友　あゆみ

法人・事業所の特徴	・地域住民に開放されている地域交流スペース「ふらっと広場」がある ・医療法事である強みを活かし、看護師、作業療法士等を配置し、医療依存度の高い方に対しても、自立支援のためのケア体制が整備されている。 ・在宅生活を支えるために、柔軟な訪問サービスの提供を行っている。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援ｾﾝﾀｰ	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	０人	０人	２人	１人	１人	１人	０人	２人	１人	８人

項　　目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A．事業所自己評価の確認	・ADOC での評価が定着してきたので、来年度は評価を基に利用者の「～したい」に取り組めるように計画に位置づけできるようにしていく。	・スケジュールに個別枠を設け、利用者の希望する支援ができるよう位置づけすることができた。 ・コロナ禍だったが、少しでも利用者がストレス無く過ごせるよう支援した。	・自己評価を行うことで、業務の見直しを行いより良いサービスを提供しようという意識に繋がっている。 ・活動報告をしてもらい、事業所での過ごし方が具体的にわかるので、もっと発信してもらえると嬉しい。	利用者の「～したい」に取り組めるよう、スケジュールに個別支援枠を設けるまでは出来たが、個別援助計画にすべてが反映できていないので、実施方法を見直す
B．事業所のしつらえ・環境	・コロナ禍の状況は継続すると思われるため、環境整備に気を付ける事はもちろんだが、コロナ禍でも充実した生活が送れる様にしていく。	・令和４年度も、コロナの状況は続き、面会、外出等の制限があるのが現状でしたが、天気のいい日には、散歩に出かけたり、イベントを開催するなどして、少しでも充実した生活がおくれるよう心掛けた。	・コロナのせいで、施設本来の姿を見ることが出来ず、とても残念です。しかし、面会の希望を受け入れて頂き、とても感謝しています。	感染対策や環境整備に気を付けながら活動の幅を広げ、地域交流に繋げる
C．事業所と地域のかかわり	・職員の何名かが地域の避難訓練に参加することができるようにする。	・日曜日と言うこともあり、地域の避難訓練には参加することが出来なかった。 ・岩野田北小学校との交流を Zoom を使用して行った。去年の反省点を活かして交流することができた。	・避難訓練に関しては、出来るだけ多くの方に参加してもらえるよう取り組んでいきたい。	毎月行っているイベント「駄菓子屋さん」を地域の子ども達にも開放する
D．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・認知症になっても本人の思う生活ができるように周りの環境を整える。	・認知症の利用者を支えるために、利用者の今までの生活スタイルを変えることなく、必要なサービスを提供。その時の状況に合わ	特になし	利用者と地域を繋ぐために必要な取り組みをする

		せて、訪問を追加したり、安否確認を行ったりして柔軟なサービスを提供できた。		
Ｅ．運営推進会議を活かした取組み	・来年度もコロナ禍は続くと思われるが、出来るだけ対面での運営推進会議の開催に取り組み、地域の意見を吸い上げる。	・運営推進会議は第４回までは書面での開催だったが、５回目以降は対面で開催を行った。地域の方の出席が少ないのが課題。	・地域のかかわりシートのアンケート結果で、わからないと言う内容が多くあったと思うのですが、とまり木で取り組んでいる活動、生活リハビリなどもっと外部に発信した方がいいと思います。	地域の方へ小多機を知ってもらうために、「とまり木通信（仮名）」を発行する
Ｆ．事業所の防災・災害対策	・来年度から引き続き、ＢＣＰ計画の作成を行い、完成させる。	・ＢＣＰ計画を完成させることができた。	・特になし	・実地訓練の実施